



5 万分の 1 地質図幅の新刊

湯 沢  
YUZAWA

5 万分の 1 地質図幅  
地域地質研究報告

著 者 大沢 穠(地質部)・大口健志・高安泰助(秋田大学)

発 行 工業技術院地質調査所

取 扱 先 地学文献センター (0423) 62-5050

- この図幅地域は東北日本グリンタフ地域に属し 火山岩の層序学的岩石学的研究は 1950年代から開始された。一方この地域には江戸時代から隆盛だった院内銀山があり 鉱床調査は古くから行われていた。
- この地域は白亜紀の神室山花崗岩類を基盤として グリンタフ層準の全てと含油新第三系の一部が分布している。
- 湯ノ沢川層は新第三系の最下位を占めて 門前層群・西男鹿層群・大荒沢層にほぼ対比される。
- これを覆う皿川層・雄勝川層・飯沢層は 台島層下半部に畑村層・大仙山層は 台島層上半部に対比される。

- 須郷田層は海棲化石・有孔虫化石を多く産し 西黒沢層に対比される。
- 女川層は主に本図幅地域内西部に広く分布するが 東部には同時異相である院内凝灰岩部層が発達する。院内凝灰岩の噴出にともない 直径 5km にわたる院内陥没構造が形成され 断層運動にともなって鉱脈が生成された。陥没構造が地質図上で累彩を放っている。台山石英閃緑岩もこの時に侵入したものである。
- 次の船川層の堆積時には 本図幅地域の大部分は海面上に隆起し 侵食地を形成していたと思われ 湖成層の三途川層が堆積した。
- 従来発表されていた 6 コの化学分析値に 今回女川層準の朝日森流紋岩と月山流紋岩の 2 コの分析値が加った。いずれもサブアルカリ質で有益な資料である。
- 院内鉱山は江戸時代から採掘され 明治27年に最大生産量を誇った銀山で 現在は休業中である。この鉱山についての各レベル毎の状態が田中慶亮氏の手記(古河鉱業株式会社社内資料)に基づいて記載されているのは貴重である。

地 質 ニ ュ ー ス	第 297 号	5 月 号
	定 価 ¥ 500	千 実 費
昭和54年 5 月 1 日	編 集	発 行
	発 行 人	林 久 雄
	発 行 所	株式会社 実 業 公 報 社 東京都千代田区九段南4の2の12 Tel. (03) 265-0951 (代表) 振替口座 東京 32466
	総発売元	大 蔵 省 印 刷 局 政 府 刊 行 物 仕 入 部 東 京 都 港 区 赤 坂 葵 町 2 Tel. (03) 582-4866
	印 刷 所	共 同 印 刷 株 式 会 社